

# 概要

1. 日時 令和8年4月15日(水)

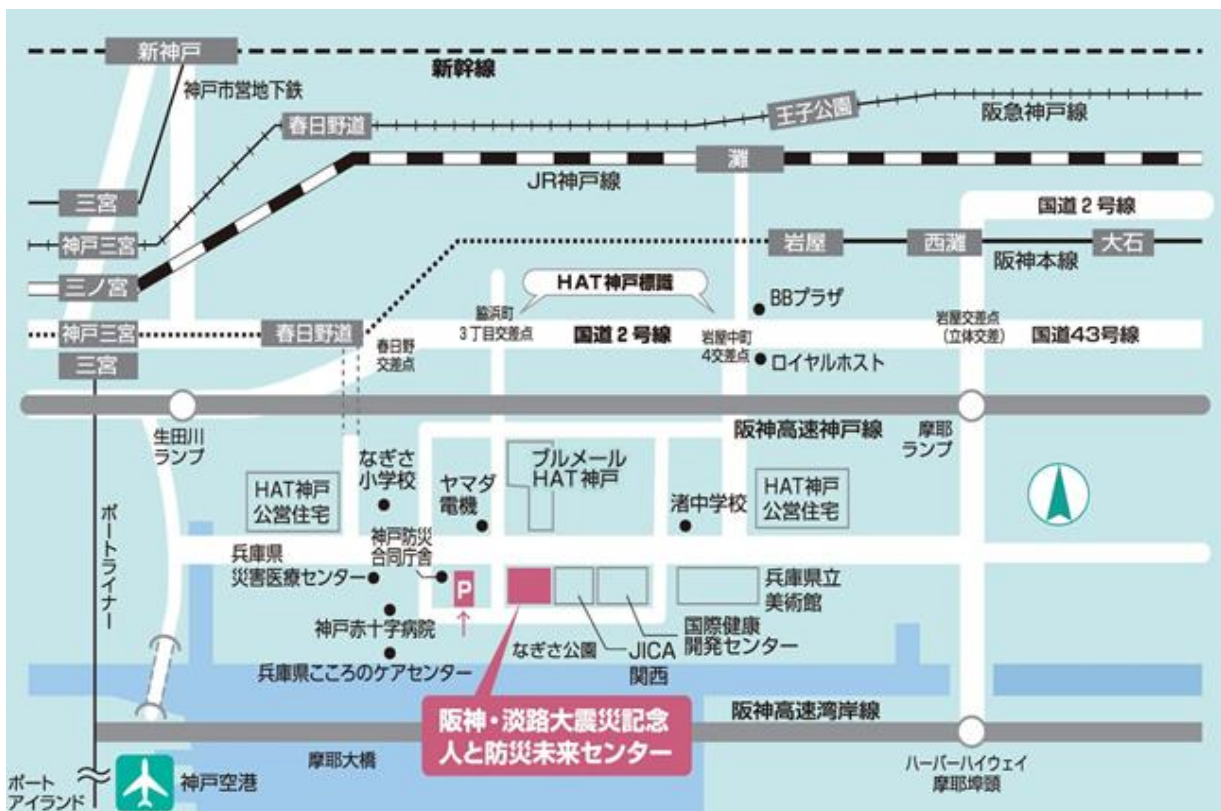
2. 目的

第2学年の修学旅行に向け、クラス内及び学年内の友人関係を築き、円滑な人間関係やコミュニケーションを学ぶ。また、集団行動を学び社会のルールや規律を守り行動する力を養う。兵庫県における震災についての学習を深め、防災について理解する。

3. 参加者：2年 98名(男子59名、女子39名)  
引率5名(田中、林、鎌田、右手、北本)

4. 行先

(1) 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター  
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2  
TEL：078-262-5050



## 5. 行 程

- 8 : 15 播磨農業高校（集合）
- 9 : 30 人と防災未来センター（着）  
施設見学
- 11 : 00 神戸市内班別活動  
※昼食を集合時間までに済ませておく
- 13 : 45 BE KOBE 前(集合)
- 15 : 00 播磨農業高校着、解散

## 6. 持ち物等

しおり、筆記用具、交通費(ICカード可)、水筒、昼食(現地調達可)

## 7. 諸注意

- ・服装は制服です。学校を背負っていることを忘れずに行動すること。
- ・センター研究員など、お世話になる人にあいさつを忘れないこと。
- ・ゴミは各自責任をもって持ち帰る。
- ・研修中はメモを執ったり、積極的に質問するなど意欲的に取り組むこと。
- ・校外学習の目的をしっかりと理解し、行動すること。
- ・一人での行動をせず、集団行動を行いましょう。



## <研修先について>

### 『阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター』

人と防災未来センターは、阪神・淡路大震災の経験と教訓を後世に継承するとともに、その経験を生かし、防災に関する知識や技術の普及を図るために、平成14年（2002年）4月に兵庫県が国の支援を得て設置した施設である。阪神・淡路大震災の経験と教訓の継承及びその教訓を未来に生かすことを通じて、災害文化の形成、地域防災力の向上、防災政策の開発支援を図り、減災社会の実現に貢献するための取り組みを進めている。

展示、資料収集・保存、災害対策専門職員の育成、実践的な防災研究と若手防災専門家の育成、災害対応の現地支援、交流・ネットワークの6つのミッションを、総合的、一体的に推進、全国さらには全世界への防災・減災情報の発信拠点、災害ミュージアム・シンクタンクとしての役割を果たしていく。また、阪神・淡路大震災30年を迎えたことや、大阪・関西万博の開催を踏まえ、今後の大規模災害や地球規模での安全安心な社会づくりへの貢献を図り、更には、防災の知恵（災害文化）の普及・啓発する取り組みを展開する。



文章・写真ともに人と防災未来センターHP より引用